

環境コミュニケーションの推進と活動を支える仕組み

宝酒造ではISO14001の統合認証を取得し、全社が一丸となって活動を推進できる体制をとっています。また、皆様の声におこたえする環境活動を行うために、さまざまな双方向コミュニケーション活動を推進しています。



■エコプロダクツ展への出展

宝酒造では東京ビックサイトで開催される日本最大の環境に配慮した製品の展示会「エコプロダクツ展」に出展し、「はかり売り」をはじめとする環境配慮型商品を紹介するとともに、ペロタクシー（自転車タクシー）など京都発の地球温暖化防止につながるNPOの取り組みも紹介しました。宝酒造ブース内のパネルを読んでクイズに答える「宝酒造環境クイズ」への参加者は、3日間で5,000人にのぼりました。宝酒造の環境への取り組みに対する消費者の皆様からご意見をうかがえる貴重な機会と考えています。



■ホームページでのさまざまな取り組み

宝酒造の環境サイト「環境への取り組み」は2005年4月にリニューアルし、常に新しい情報をお届けできるように運営しています。2006年4月には「環境への取り組み」内のエコキッズコーナーを独立させ「子どもタカラ」として新設。環境だけでなくタカラ本みりんの工場見学サイトへのリンクを行うなど、宝酒造の総合的な子供向けサイトにしました。ほかに、環境ポータルサイト「環境goo」の協力を得て「お米とお酒の学校ブログ」を開設するなど、より新鮮な情報を提供するとともに、双方向のコミュニケーションを進めています。



■ N:子どもタカラ

■環境会計

宝酒造の環境コストの中では、容器包装のリサイクルにかかる再商品化委託費用などの「上・下流コスト」は減少傾向にあります。CO₂削減など地球温暖化にかかわる地球環境保全コストは増加傾向にあります。企業や社会が環境コストを支払ってもなお地球温暖化が進行しているというこ

とは、企業や社会が払っても補いきれない環境コストが存在しており、今重要なのは、この地球環境が支払っているコストを企業や行政が早急に肩代わりし、地球温暖化の進行を止めることです。今後どのような地球環境保全コストや上流・下流コストをかけて社会全体でCO₂などの温室効果ガスを効果的に削減できるかが課題です。

(集計範囲:宝酒造単体 対象期間:2006年4月1日~2007年3月31日 単位:千円)

分類	主な取組の内容	投資額	費用額	
(1) 事業エリア内コスト		146,100	544,244	
内 訳	①公害防止コスト	排水処理設備更新、ボイラー更新、メンテナンス費用、賦課金等	34,009	242,138
	②地球環境保全コスト	ガスボイラー、ポンプインバーター、CNGフォークリフト等	49,743	33,828
	③資源循環コスト	資源の効率的利用、産業廃棄物のリサイクル・処理等	62,348	268,278
(2) 上・下流コスト	再商品化委託費用、リターナブル、はかり売りタンク等	0	280,022	
(3) 管理活動コスト	環境マネジメントシステムの整備・運用、環境広告等	10,505	317,264	
(4) 研究開発コスト	製造等の段階における環境負荷の抑制のための研究開発	0	384	
(5) 社会活動コスト	ハーモニストファンド、ペロタクシー、芝生スクール京都、お米とお酒の学校等	0	17,794	
(6) 環境損傷対応コスト	産業廃棄物適正処理推進基金	0	50	
合計		156,605	1,159,758	

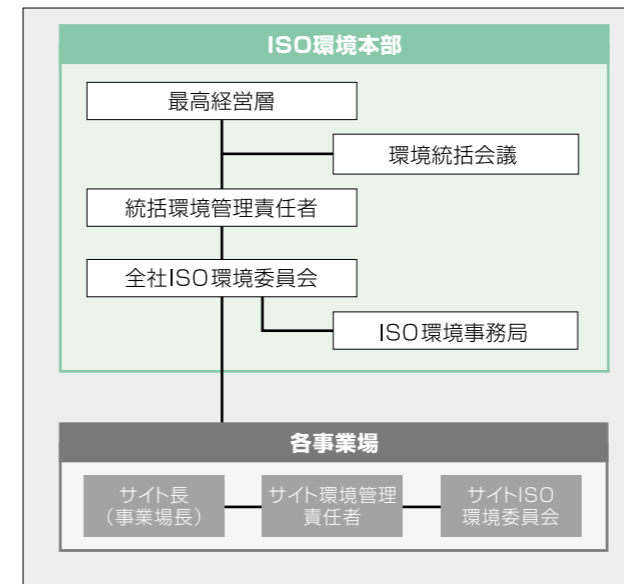
■ 9:その他の環境会計

■宝グループ環境マネジメントシステム組織図

宝酒造では2002年度までに全工場、全支社、本社（同一ビルに入居している（株）トータルマネジメントビジネス、宝ネットワークシステム（株）を含む）でISO14001の認証取得を完了しました。そして2005年1月には統合認証を取得し、ISO環境本部を中心に中期経営計画とISO14001の目標を連携させるなど、経営と直結した目標に向かって活動しています。

各事業場では、環境管理責任者が中心となり具体的な活動を推進しています。

■ 10:ISO14001、9001取得年表



■環境関連法規遵守状況

環境汚染の未然防止の観点から、法令遵守はもとより自主基準やガイドラインを設定し、環境管理に取り組んでいます。ISO14001のシステムを有効に利用して定期的なチェックを実施し、法令遵守状況を確認しています。なお2006年度は環境関連法規に関する違反事項はありませんでした。

■宝グループ環境方針

1. TaKaRaの企業理念

「自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します」

この基本理念に基づいて、宝グループは積極的に環境保全に取り組み、豊かな社会づくりに貢献します。

2. 基本方針

宝グループの業務内容は、宝グループ全体の経営資源配分等グループ戦略の推進やIR活動および酒類・食品・酒精事業全般とこれを支援するマーケティング調査・人材派遣、IT化支援など多岐にわたっています。

これらの活動が環境に与える影響を的確に把握し、地球環境保全に貢献するために、次の基本方針に基づき活動します。

- 地球環境の保全と事業活動の調和を経営の重要課題の一つとして取り組みます。
- 環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善と汚染の予防に努めます。
- 環境に関する法規制及び組織が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 事業活動全般の環境影響評価を的確に行い、技術的、経済的に可能な範囲で目的・目標を定めて実践し、また定期的に見直すことにより環境パフォーマンスの向上を図ることを約束します。
- 宝グループが行う事業活動の中、特に以下の項目について優先的に環境保全活動を推進します。
 - 天然資源を大切に、省資源・省エネルギーに努めます。
 - 環境に配慮した商品開発に努めます。
 - グリーン購入に努めます。
 - 環境活動への取組み、環境パフォーマンス情報を積極的に開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。
- 本環境方針は、教育啓蒙活動を通じて宝グループの全構成員に周知するとともに、社員の社会貢献活動への参加を積極的に支援します。なお、本環境方針は、一般の人が入手可能なものにします。

2004年4月1日

宝ホールディングス株式会社 代表取締役社長
宝酒造株式会社 代表取締役社長
大宮 久

(注)ISO14001における宝グループは、宝ホールディングス(株)、宝酒造(株)、(株)トータルマネジメントビジネス、宝ネットワークシステム(株)で構成されています。

主要な環境関連法規

公害関係法規(大気、水質、騒音、振動、土壌汚染、悪臭)、廃棄物処理関係法規、化学物質管理関係法規(PRTR法、毒物劇物取締法)、リサイクル関係法規(容器包装リサイクル法、食品リサイクル法、資源リサイクル法)、防災・危険物関係法規 など